

川崎市高齢者外出支援乗車事業の ICT 導入等に関するサウンディング型市場調査
質問回答書

質問①	媒体における券面表示にご意向は具体的にございますでしょうか。
回答	乗車時に事業対象者であることが判別できるよう、最低限、本事業の対象であることが分かるような記載（事業名称や高齢者特別乗車証明書、高齢者フリーパス、福祉パスなど）をしたいと考えていますが、具体的なデザインなどは採用する媒体によって検討する必要があると思われますので、導入事業者が決定した後に、具体的な検討をする予定です。
質問②	今後のスケジュールについて、令和4年度に ICT 技術導入および利用実績把握とありますが、この時の方式はコイン式およびフリーパス方式で運用の変更は行わないという理解でしょうか。
回答	現在のところ、令和4年度の導入時点ではコイン式、フリーパス式の併用は継続する見込みです。
質問③	現状のフリーパスの購入はどこで行われていますでしょうか。窓口で実施の場合は、個所数などをご教授いただけますでしょうか。
回答	<p>高齢者フリーパスは各区社会福祉協議会やバスの営業所など市内 26 か所で販売しています。</p> <p>販売窓口の詳細は本市公式ウェブサイトの Q&A に記載していますので、併せて御確認ください。</p> <p>【URL】 https://www.city.kawasaki.jp/templates/faq/350/0000012916.html</p>
質問④	提案書に概算費用は必要でしょうか。その場合、概算費用は令和5年度までの内容という前提でしょうか。令和6年度以降の概算費用も必要な場合、ポイント制度の概要をご教示ください。
回答	<p>本サウンディング調査については、現行制度の ICT 化に加え、その ICT を活用した新たな施策のアイデアを御提案いただくことを主な目的としています。後段の部分について、ポイント制度などはあくまでも例示ですので、御応募いただいた皆様の自由な発想で令和6年度以降に導入できる施策を御提案いただければと思います。</p> <p>また、概算費用については、難しい場合は御提示いただかなくても差し支えありません。御提示いただける場合は、令和3・4年度の導入コストと令和5年度以降のランニングコストの二つに分けて御提示いただけると幸いです。</p> <p>なお、新たな施策の導入時期については、実施要領にも記載のとおり、令和6年度からの導入を考えていますが、コスト・サービス両面から見て早い段階からの導入が望ましい場合は、ICT 導入と同時期（令和4年度）も検討可能です。</p>